

公 表 日

令和元年 7月10日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	気候変動による低水管理分野への影響検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 村山 一弥 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 元年 7月10日
契約業者名	気候変動による低水管理分野への影響検討業務パシフィックコンサルタンツ・
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅中央街7-21
契約金額	34,870,000円(税込み)
予定価格	34,892,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 元年 7月11日
履行期間(至)	令和 2年 3月15日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 気候変動による低水管理分野への影響検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市博多区博多駅中央街7番21号
会社名：気候変動による低水管理分野への影響検討業務パシフィックコンサルタンツ・国土技術研究センター設計共同体
電話：092-418-8020
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、将来の気候変動による低水管理及び水資源への影響等について把握するとともに、今後の適応策検討のための基礎資料とするため、筑後川水系をモデルケースに低水の降雨流出モデルの構築及び気候変動を踏まえた水資源開発施設の供給可能量の検討を行うものである。

2) 業務の内容

- ・計画準備 1式
- ・資料収集整理 1式
- ・降雨流出モデルの作成 1式
- ・気候変動モデル降雨データを用いた河川流量の算出 1式
- ・気候変動を踏まえた供給可能量の算出 1式
- ・L1 渇水及びL2 渇水における供給可能量の算出 1式
- ・気候変動における影響評価検討 1式
- ・報告書作成 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち4者を技術提案書の提出者として選定し、4者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、特定テーマの「筑後川水系ダムの利水計算モデルの構築及び供給可能量算定における留意点」に対する技術提案について、モデルの再現性評価において説得力のある優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川環境課長